

ICT活用工事など4つの施策について

施策

- (1)ICT【情報通信技術】活用工事、(2)情報共有システム活用、
(3)快適トイレ設置、(4)週休二日確保

目的(共通)

建設業の持続性維持、担い手確保、魅力向上、多様なワークスタイル対応 など

ICT活用工事

3次元データを用いて施工、全体マネジメントを行う。
→ドローン等による3次元測量・施工計画・施工管理、ICT建設機械施工

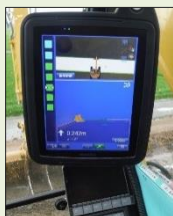
メリット	生産性向上、安全性向上、工期短縮、省力化、技術支援 など
対象工事	土工量1,000m ³ 以上の一般土木工事、面積3,000m ² 以上のs親切の舗装工事又は、一般土木工事の路盤工事、その他生産性向上が認められる工事(災害復旧除く)
実施内容	3次元起工測量、3次元設計データ作成、ICT建設機械施工、3次元施工管理、3次元データ納品の5段階
留意事項	発注者指定、受注者希望可能。3次元測量設計データ費用とICT工事費用の計上可能。工事成績評定で評価。



ドローン測量



ICTバックホウ(アンテナ、ステレオカメラ搭載)



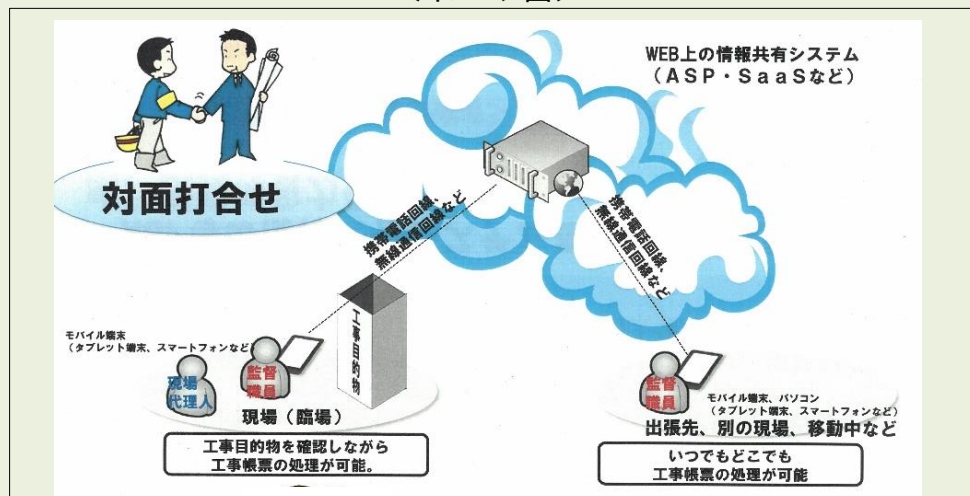
コントロールユニットモニター

情報共有システム

発注者、受注者間での書類(協議書等)のやりとりをサーバー上で行う。
→工事関係書類の作成、提出、閲覧、決裁、スケジュール管理、電子納品

メリット	書類提出のための移動時間削減、ペーパーレス化、複数現場の一元的管理、モバイル端末を用いて現場で発議可能、電子納品支援 など
対象工事	福島県土木部が発注する全ての土木工事 (原則として3,000万円以上は対象となる。)
実施内容	提出書類の作成から決裁までシステムで行う。(紙出力不要)
留意事項	国交省基準を満たすシステム提供会社(メーカー)は、9社。電子データによる竣工検査を実施。システム使用料は共通仮設費に計上済み。

<イメージ図>



【H30実績】 47件(47/145=32%)、【R1実績】 49件(49/118=42%)

ICT活用工事など4つの施策について

快適トイレ

一定の仕様(洋式便座など)を満たすトイレを設置する。
→水洗、臭い逆流防止機能、男女別の表示など

メリット	建設現場のイメージ向上、男性女性とも働きやすい環境作り、現場環境の整理整頓向上、成果物の品質向上 など
対象工事	平成31年4月1日以降起工の全工事(災害復旧除く)
実施内容	洋式便座、水洗機能、臭い逆流防止機能、容易に開かない施錠機能、照明機能、衣類かけフック又は荷物置き場、男女別表示、入り口の目隠し、サニタリーボックス、鏡付き洗面台、便座除菌シートなどの衛生用品設置
留意事項	導入できた現場について変更設計時に費用(共通仮設費現場環境改善費)計上する。(当初設計時は未計上)



洋式トイレ



鏡付き洗面台

【H30実績】 16件 (16/67=24%)、【R1実績】 16件 (16/116=14%)

週休2日

工事現場で週休2日を確保する。 →4週8休

メリット	長時間労働の解消、働き過ぎを防ぎ心身ともに健康維持、労働生産性の向上、自己啓発機会確保、社会貢献や家庭サービスへの積極的関与など
対象工事	福島県土木部が発注する全ての工事(災害復旧除く)
実施内容	工期(年末年始休暇等を除く)内において、現場閉所日数割合を28.5%(8日/28日)以上確保する。現場閉所日数には、降雨や降雪等による閉所日を含めてカウント。
留意事項	<p>【積算】 労務費、機械経費損料、共通仮設費、現場管理費について割増補正、掲示板の設置費用計上 (発注者指定型)当初設計時に「4週6休以上4週7休未満」の工事費補正係数を乗じて計上し、達成状況に応じて補正係数を変更する。 (受注者希望型)達成状況に応じて工事費補正係数を乗じて計上する。</p> <p>【評価】 工事生成評定で評価 (発注者指定型)達成の場合は、加算評価し、未達成の場合は、減点。 (受注者希望型)達成の場合は、加算評価し、未達成の場合は、評価しない。(減点無し)</p>



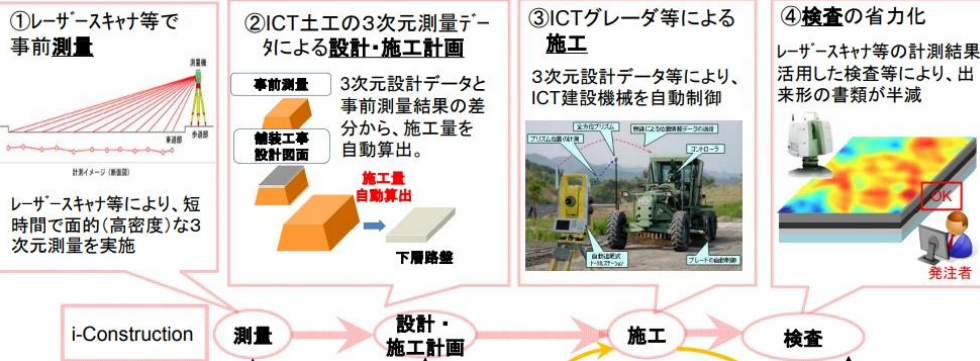
「建設業週休二日ロゴマーク」
(一社)日本建設業連合会

← facebook国交省働き方改革・工事現場の週休2日より

【H30実績】 33件
(33/171=19%)
【R1実績】 36件
(36/116=31%)

現場からの声

ICT活用工事

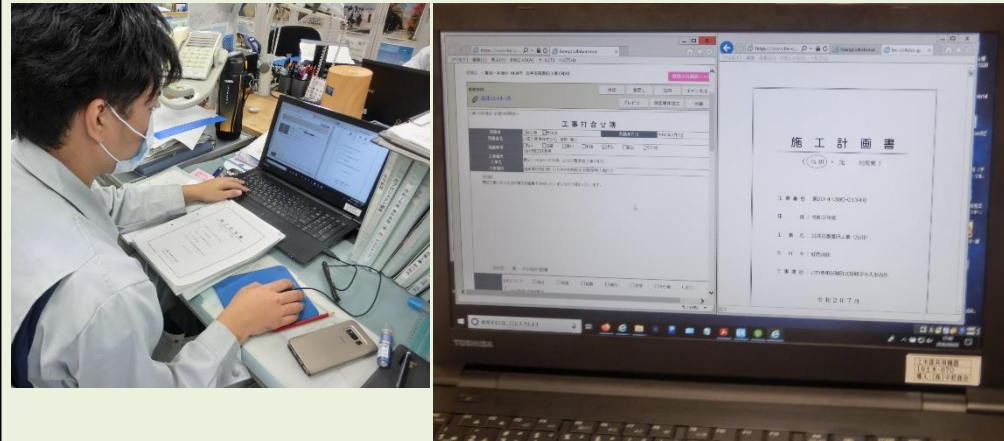


参考:国土交通省「ICT導入協議会」資料より一部抜粋

【実施箇所:国道399号 いわき市小川町上小川字内倉地内 舗装工】

<p>監督員のコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めてのICT施工となりますが、受注者と共に<u>施工時間の短縮やコスト削減</u>を図り、<u>より品質の高い道路</u>が完成するよう努めていきたい。
<p>現場代理人のコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本工事のICTによる点群データを用いた出来形管理を行うことで、<u>作業の効率化、生産性の向上</u>が考えられます。 従来の方では、測点毎に測定、書類・出来形帳票の作成などを行わなければならないため、外業・内業共に大きな負担となっていたが、地上型レーザーキャナによる計測と自動処理により<u>負担の軽減、効率化</u>が図られます。 これからICT工事が普及していき、<u>建設業全体の生産性の向上</u>に繋がることにも期待しています。

情報共有システム



【実施箇所:常磐勿来線 いわき市常磐関船町迎地内 道路改良工】

<p>監督員のコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの画面上で工事打合せ簿の内容確認ができる。 複数の現場を<u>一元的に管理</u>できるため、ファイルを検索する<u>時間が削減</u>でき管理しやすくなった。 図面等の添付資料が拡大できるため確認しやすい。
<p>現場代理人のコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書類のほとんどを<u>クラウド上で処理</u>できるので建設事務所まで提出に行く必要が少なくなり、その移動時間を現場管理や書類作成など有効に活用できるようになった。 写真や図面などの重いデータをクラウド処理できるのでメールの制限を気にしなくてよくなった。 打合せ簿を電子納品できるので竣工時の書類(紙媒体)が減る。

現場からの声

快適トイレ



【実施箇所:いわき市常磐下湯長谷字岩崎地内 法面工】

<p>監督員 の コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの環境が良くなることにより、トイレ内だけでなく現場内の美化意識が改善された。 ・現場のトイレを利用するようになった。
<p>現場代理人 の コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで使用していた仮設トイレより明るく、においも押えられており、便座除菌剤、手洗い設備などが完備されて室内も広ため、作業員が気持ちよく使っている。 ・美化意識の向上により、現場内が<u>整理整頓</u>されることになり、事故のリスク低減や<u>品質向上</u>に繋がる。 ・現場のイメージアップとなることから<u>女性作業員が働きやすくなり</u>、作業員の新規参入に繋がる。

週休2日



【実施箇所:いわき市平字作町三丁目地内 電線共同溝工】

<p>監督員 の コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業界のイメージアップができるため、若手技術者の更なる確保に繋がる。
<p>現場代理人 の コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週末に<u>家族と過ごす時間が増え</u>、<u>積極的に家族サービス</u>が行えるようになった。 ・現場が市街地商業区域であり特に週末渋滞が発生しやすい状況のため、週末工事を休むことにより渋滞発生緩和につながり、通行者にメリットがあると思われる。